



令和7年度市政運営方針

「夢のある、元気のある土浦」の実現に向けて

土浦市長 安藤 真理子

私は、市長就任以来これまで、家計負担を考慮した家庭用ごみ袋の値下げや、保育サービスの基準や保育環境のセーフティネットとしての役割を担う公立保育所の存続、公共交通不便地域におけるコミュニティバスの実証運行など、市民の皆さまに寄り添った、数々の施策を実行してまいりました。

これらに加え、新たに、本市初となる乙戸沼公園におけるインクルーシブデザインの大型遊具の導入や、市域を超えた交通課題解決につながる地域連携公共ライドシェアの実施、さらには友好交流協定を締結した台南市との絆がより強力なものとなるための取り組みなど、先駆的な施策にも果敢にトライし、着実に成果を上げております。

この流れを途絶えさせることなく、より一層魅力的なまちへと成長させていくために、新年度は、社会経済情勢の変化や市民ニーズに柔軟かつ的確に対応しつつ、新たな歳入の確保や、選択と集中による歳出の抑制を図る行財政改革を強力に推し進めながら、これまでの常識に捉われず、直面する課題に対し、熱意と誠意を持ってチャレンジし続けてまいり所存でございます。

そして、市民の誰もが誇りに思い、土浦を離れた方が「必ず帰ってきたい」と思ってもらえるような、希望に満ちたわくわくするまちを創造するために、未来を見据えた施策を引き続き実行し、着実にその成果を積み重ねることで、「夢のある、元気のある土浦」のさらなる躍進に向けて、全力を尽くしてまいります。

令和7年度の主な取り組み

問政策企画課（☎内線2425）

リーディング
プロジェクト

1

子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり



「かがやけ！土浦の子どもたち」を合い言葉に、未来を担う子どもたちが地域とのつながりのなかで、心身共に健やかに、生き生きと育ち、土浦を故郷として誇りに思うことができるまちを目指します。

1 本市全体の保育の質の向上

事業／予算額	認定こども園土浦幼稚園運営事業(特色ある保育委託料のみ)(継続)／28万円 公立保育所グスターチャー事業(継続)／84万円
事業概要	認定こども園土浦幼稚園および全公立保育所において、令和6年度より実施している英語教室をはじめとした特色ある保育につきましては、子どもたちの国際感覚を育み、心身の発達を促すものとなるよう、さらなる拡充を図ります。



自転車の乗り方を学ぶ
子どもたち

2 時代の変化に応じた子育て支援の充実・子育てにかかる経済的支援制度の 不断の見直し

事業／予算額	市立小・中・義務教育学校の給食費の支援(継続)／5億5310万6000円 保育所AI入所選考システム事業(新規)／588万3000円 子育て世帯訪問支援事業(継続)／51万2000円
事業概要	令和5年10月から実施している、すべての市立小・中・義務教育学校における学校給食費の支援を継続して実施することにより、急激な物価高騰に伴う経済的負担の軽減や、子育て世帯の支援拡充を図ります。 保育所などの入所選考について、新たにAI(人工知能)システムを導入することで、保護者の希望やニーズに沿った最適な保育所などを、これまで以上に迅速に提案することにより、さらなる保育サービスの向上につなげます。 子育て世帯や、ヤングケアラーなどに対して、家事援助サービスを提供する「子育て世帯訪問支援事業」については、引き続き、家事・子育てなどの支援に取り組むことで、家庭や養育環境を整え、虐待リスクの高まりを未然に防止します。



月4回程度開催する英語教室



楽しく給食を食べている
子どもたち

3 時代の変化に応じた個別最適な学びと協働的な学びの提供	
事業／予算額	小学校・中学校GIGAスクール構想推進事業(継続)／1億629万2000円
事業概要	GIGAスクール構想に基づき整備した、1人1台の端末環境を、校内学習や家庭学習において、有効に活用することで、児童・生徒の能力の育成をより一層推進します。
4 学校施設の環境改善	
事業／予算額	小学校・中学校長寿命化改良事業(継続)／13億9227万1000円
事業概要	小・中学校の校舎および屋内運動場の長寿命化工事を継続して実施することで、学校施設の計画的な環境改善を進めます。
5 小学校の適正配置	
事業／予算額	上大津地区統合小学校整備事業(継続)／2億3299万7000円
事業概要	教育環境の維持、向上を図るため、校舎および屋内運動場などの設計を進め、令和10年度の上大津小学校の開校を目指します。



1人1台端末と電子黒板を使用した授業



令和6年度都和南小学校
長寿命化改良工事完成

リーディングプロジェクト

2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり

本市の持つ自然環境や歴史文化、れんこんや花火競技大会など、「地域の宝」を最大限に生かして、本市の魅力を創造し、戦略的に発信することで、人口還流を強化し、持続的に発展できるまちを目指します。

1 サイクリングを活用した地域活性化	
事業／予算額	水郷筑波サイクリング環境整備事業(継続)／553万9000円
事業概要	本市が世界に誇る、つくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめとしたサイクリング環境を活用し、全国各地のナショナルサイクルルートとも連携を図ることで、国内はもとより、海外からも多くのサイクリストを誘致し、さらなる交流人口および関係人口の増加を図ります。
2 広域連携による観光の推進	
事業／予算額	ジオパーク推進事業(継続)／252万8000円
事業概要	令和7年1月、日本ジオパーク委員会において2度目の再認定を受けた「筑波山地域ジオパーク」については、周辺6市により構成する推進協議会で協力・連携を図り、筑波山や霞ヶ浦などの貴重な大地の遺産のPR活動を進めながら、これらの資源を次世代に引き継いでいきます。
3 「イベント」資源の効果的活用	
事業／予算額	土浦全国花火競技大会開催事業(継続)／8500万円
事業概要	これまで培ってきた歴史と伝統を踏まえつつ、警察をはじめ、雑踏警備や観客輸送など、関係機関と密接に連携を図りながら、今年で100周年を迎える記念大会の確実な開催および安心安全な大会運営に向けて全力で取り組み、先人たちの想いを後世につなげます。
4 歴史・文化の継承	
事業／予算額	歴史的風致維持向上計画推進事業(継続)／43万円 文化財整備・活用事業(継続)／99万7000円 市史編さん事業(継続)／557万9000円
事業概要	国の認定を受けた「歴史的風致維持向上計画」および「文化財保存活用地域計画」に基づき、歴史的建造物の保存・活用について、包括的な支援を実施するとともに、市制施行100年を迎える令和22年に向けて、新編市史編さん事業に着手するなど、歴史、文化を生かしたまちづくりを推進します。



つくば霞ヶ浦りんりんロード



筑波山地域ジオパーク
霞ヶ浦ゾーン



土浦全国花火競技大会
ワイドスターマイン

リーディング
プロジェクト

3 暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり

多様化・高度化する市民ニーズを的確に把握し、市民の暮らし満足度を高める取り組みを推進するとともに、産業のさらなる発展を促すことで、本市に住む誰もが暮らしやすく、また、働きやすいまちを目指します。

1 都市拠点への都市機能の誘導	
事業／予算額	都市施設管理事業(継続)／2億6178万7000円
事業概要	本市の南の拠点である荒川沖駅について、老朽化した自由通路の改修に加え、利用者のさらなる利便性向上を図るため、駅西口および東口の駅前広場の機能再編に向けた取り組みを推進します。



荒川沖駅自由通路の改修工事

2 公共交通不便地域の解消	
事業／予算額	地域公共交通確保維持改善事業(継続)／6433万9000円
事業概要	コミュニティ交通「つちまるバス」の運行に加え、令和7年1月より開始した地域連携公共ライドシェアを推進することで、地域公共交通のドライバー不足の解消および運行の効率化を図るなど、持続可能な公共交通網の構築を目指します。



地域連携公共ライドシェア
つくば・土浦・下妻・牛久で運行開始

3 土浦港周辺地区の土地利用の推進	
事業／予算額	土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業(継続)／239万円
事業概要	「りんりんポート土浦」の隣接地において、官民連携により、多くの方々が訪れる、魅力ある土地利用を推進するため、サウンディング型市場調査などの結果を踏まえ、茨城県と連携しつつ、事業者を公募するなど、事業化に向けて積極的に取り組みます。



りんりんポート土浦

4 主要幹線道路などの整備	
事業／予算額	荒川沖木田余線(Ⅱ期)整備事業(継続)／4億2668万7000円 田村沖宿線延伸道路整備事業(継続)／6635万円 木田余神立線街路事業(Ⅱ期)(継続)／5億1222万4000円
事業概要	交通渋滞の解消および道路ネットワークのさらなる強化を図るため、荒川沖木田余線について、県道土浦港線から、真鍋神林線までの区間において、引き続き4車線化工事を推進します。 また、木田余神立線および田村沖宿線延伸道路につきましても、引き続き、事業を着実に進めることで、道路網の強化を推し進めます。



つくばエクスプレス土浦延伸の
早期実現に向けた駅頭キャンペーン

5 つくばエクスプレスの土浦への延伸の実現に向けた取り組みの推進・スマートインターチェンジの整備の推進	
事業／予算額	TX延伸事業(継続)／18万円 スマートインターチェンジ整備事業(継続)／8614万1000円 開発候補地調査検討事業(継続)／809万5000円
事業概要	つくばエクスプレスの土浦延伸構想の一日でも早い実現に向けて、機運醸成に資する活動を継続するとともに、茨城県と連携を密にしながら、機をとらえて関係機関への要望活動を実施するなど、今後も皆さまと力を合わせ、総力を挙げて取り組みます。 スマートインターチェンジの整備につきましては、令和6年9月に新規事業化が決定したことから、これまで以上に国、県、NEXCOなど、関係機関との連携を図るとともに、詳細設計や地質調査を実施するなど、早期の完成に向けて全力を挙げて取り組みます。 あわせて、つくばエクスプレスの土浦延伸やスマートインターチェンジ整備などの将来的な交通ネットワークの形成を見据え、新たな開発候補地における事業化の可能性を検討します。

6 インターチェンジ周辺地区の土地利用の促進	
事業／予算額	インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業(継続)／6097万8000円
事業概要	桜土浦インターチェンジ周辺地区において、令和6年6月に設立された組合設立準備委員会の活動を支援し、土地区画整理事業の事業化を促進するとともに、土浦北インターチェンジ周辺地区においても、地域特性に合った土地利用への誘導を図り、企業誘致に結びつけます。
7 農業振興の推進	
事業／予算額	日本一のれんこん産地推進事業(継続)／269万9000円 土浦ブランドアッププロジェクト推進事業(継続)／249万8000円
事業概要	日本一の生産量を誇るれんこんをはじめ、県の銘柄産地に指定されているグラジオラスや、銘柄推進産地に指定されているアルストロメリアなどの花き類、米、果樹、野菜など、本市で生産されるすべての農産物について、引き続き、ブランドセールスの全国展開に総力を挙げて取り組み、稼げて儲かる農業の実現を目指します。 特に、れんこんについては、生産者やJA、飲食店事業者などで構成する協議会を中心に、市内飲食店におけるれんこん料理の普及や、各種イベントでの販売に加え、魅力を高めるプロモーションを展開することで、日本一のれんこん産地としての知名度向上と消費拡大を図ります。



土浦の恵みマーケット



れんこんを毎日の食卓へ
「れんこんのサラダ化プロジェクト」

リーディングプロジェクト

4

安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり

自然災害の激甚化や、感染症の流行期などに自然災害が発生した場合の複合災害に備え、ハード・ソフトの両面から災害被害ゼロを目標に、市民の生命、財産、そして生活を守る取り組みを推進することで、市民が安心して暮らせる災害に強いまちを目指します。

1 地域防災力の強化	
事業／予算額	防災拠点・防災設備整備事業(継続)／1141万8000円 地域防災力強化事業(継続)／319万8000円 防災意識普及啓発事業(継続)／263万1000円
事業概要	大規模災害に備え、防災資機材や備蓄品を充実させるとともに、地域防災サポーターとの連携のもと、市民参加型の実践的な防災訓練や、防災講演会などの充実を図り、市民の防災意識の高揚と、地域防災力のさらなる強化につなげます。
2 土砂災害による急傾斜地崩壊防止対策	
事業／予算額	急傾斜地崩壊対策事業(継続)／605万5000円
事業概要	東真鍋地区については、長年にわたる工事が令和6年7月に完了しました。木田余地区についても、危険区域の解消に向けて工事を速やかに進めるよう、引き続き地域住民などとの調整を図りつつ、茨城県に対して強く働きかけを行います。
3 橋梁の安全対策	
事業／予算額	橋梁定期点検事業(継続)／2730万1000円 橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業(継続)／2億2692万6000円
事業概要	計画的に定期点検を実施し、危険箇所の早期発見に努めるとともに、並木橋などについて、順次、長寿命化に係る設計・工事を進めます。



市民参加型の防災訓練



急傾斜地崩壊対策工事



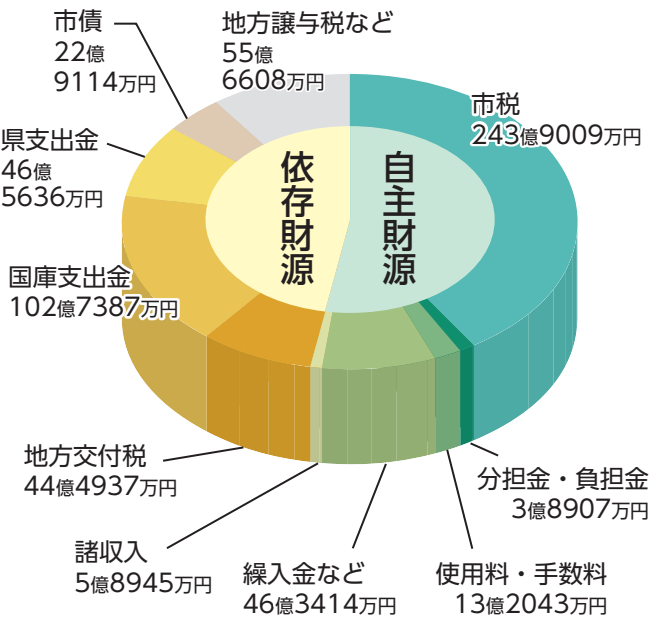
東真鍋1号橋(木田余立体橋)
落橋防止施工後

令和7年度 土浦市の予算

予算総額
1013億8000万円(対前年度比2.5%増)

一般会計 585億6000万円(対前年度比3.2%増)

歳入



自主財源は、市税の増や、基金繰入金の増などにより、対前年度比7.1%の増となり、平成30年度から引き続き、全体の5割を上回りました。依存財源は、ごみ焼却施設整備事業費債の減などによる市債の減や、地方交付税の減などにより、対前年度比0.9%の減となりました。

自主財源		
市税	税	市民税や固定資産税などの税金
分担金・負担金		保育料など特定の受益者からのお金
使用料・手数料		公共施設の使用料や住民票発行などの手数料
繰入金など		基金からの繰入金や財産収入など
諸収入		延滞金など、どの区分にも属さないお金

依存財源		
地方交付税		財政状況に応じて国から交付されるお金
国庫支出金		特定の事業を行うため国から交付されるお金
県支出金		特定の事業を行うため県から交付されるお金
市債		多額の資金を要する際などに借入のお金
地方譲与税など		国税のうち一部が市に譲与される地方譲与税、地方交付金など

特別会計・企業会計 428億2000万円(対前年度比1.4%増)

特別会計は、特定の事業を行う場合に、特定の収入と支出により、一般会計と分離して経理を行う会計です。

被保険者の増により介護保険特別会計の規模は、対前年度比5.8%の増となっており、特別会計全体の規模は対前年度比1.4%の増となりました。



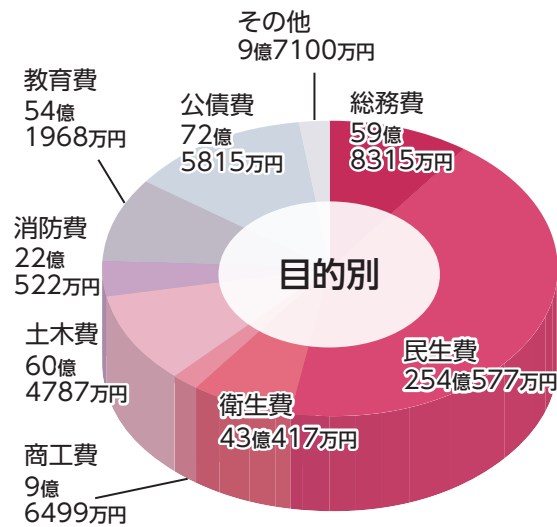
会計名	予算額
公共用地先行取得事業	2億4992万円
駐車場事業	1億1541万円
国民健康保険	131億5767万円
後期高齢者医療	26億7013万円
介護保険	135億1583万円
水道事業	46億6988万円
下水道事業	84億4116万円
計	428億2000万円

令和7年度は、限られた財源のなかで選択と集中を徹底しながら、社会経済情勢の変化や市民ニーズに柔軟かつ的確に対応し、将来にわたって持続可能な行財政運営が確立された「夢のある、元気のある土浦」を実現するための各施策を、効果的に推進する予算配分に努めました。主な施策は、2～5ページに掲載しています。

☎財政課（☎内線2243）

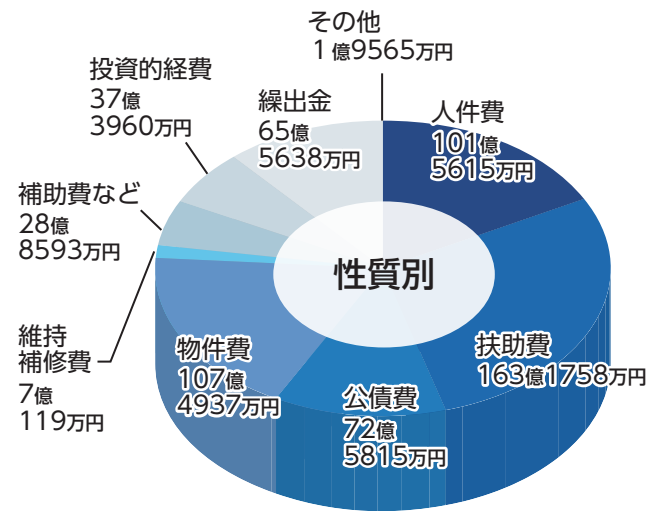
一般会計

歳出



公共施設包括管理事業、職員人件費などの増により、総務費は対前年度比13.6%の増となりました。また、消防庁舎整備事業などの増により、消防費は対前年度比7.7%の増となりました。

目 的 別	
総 務 費	全般的な管理事務や徴税、選挙など
民 生 費	高齢者・障害者の福祉や子育て支援など
衛 生 費	保健衛生やごみ処理、環境保全など
商 工 費	商工業の振興や観光など
土 木 費	道路・公園などの整備や都市計画など
消 防 費	消防団や消防施設整備など
教 育 費	学校教育や文化・スポーツなど
公 債 費	借入金の返済
そ の 他	議会費、農林水産業費、災害復旧費など



人件費、扶助費、公債費で全体の約半分を占めています。これらは義務的経費と呼ばれ、歳入の状況にかかわらず支出しなければならない経費で、この割合が小さいほど財政の弾力性があるとされています。

性 質 別	
人 件 費	職員の給料や手当などの経費
扶 助 費	児童や高齢者などを援助する経費
公 債 費	借入金の返済に要する経費
物 件 費	備品などの購入経費や委託料、光熱水費など
維持補修費	市の施設などの維持管理経費
補助費など	公益的な事業などに対する補助金や負担金
投資的経費	道路や施設の建設経費や災害復旧費など
繰 出 金	一般会計から特別会計に支出するお金
そ の 他	貸付金や出資金など

市民1人あたりの市の予算 41万2810円



※令和7年2月1日現在の人口14万1857人で算出